

# 2022 年学生卒業設計・制作 NCF 空間ディスプレイアワード 受賞作品講評

## 最優秀賞

Aw2204

【作品名】 積乱の橋梁区

【制作者名】長井 一乃眞

【大学・学部】東京電機大学 未来科学部建築学科・日野研究室

【賞金額】 40 万円

【講 評】 日常的に使用されていた橋の撤去に対して、生活空間としての橋を再構築する提案である。橋を建築と土木の総合した「動かぬ可動構造物」として、日常と非日常を繋ぐものとして、また都市＝劇場における舞台装置として「教会」になぞらえて「橋会」ととらえ、人間の都市活動の舞台として、演劇空間とする案。ユニークな提案で、デザインも面白く、計画案の密度も高く、都市的なディスプレイデザインといえるもので、優れたものである。

## 優秀賞

Aw2221

【作品名】 空間を織る～着飾り、繕う建築～

【制作者名】木村 華

【大学・学部】東北工業大学 工学部建築学科

【結 果】優秀賞

【賞金額】 25 万円

【講 評】ファストファッションの氾濫する原宿に、衣類の大量消費に対する問題提起としてリメイク工房を提案するもので明確なメッセージがある。布を選ぶ、裁断する、縫製するなどの機能を付与した間を線形に収める空間構成も優れている。提案者自身が成長過程で親しんだ縫製の製造過程を建築空間に組み込んだデザインは、やさしく等身大の空間であり、生活ディスプレイデザインとして評価できる。

## 優秀賞

Aw2212

【作品名】 八ツ沢水力発電所美術館

【制作者名】石黒 裕美

【大学・学部】多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科・松澤研究室

【結果】優秀賞

【賞金額】 25 万円

【講評】 一連の重要文化財「八ツ沢発電所施設」に対して、視点となる施設などを設けて、壮大なランドスケープが体感できるヘリテージツーリズムゾーンとするダイナミックな提案である。「美術館」という命名にはやや違和感もあるが、近代産業遺産を歴史的、技術的観点のみならず、地域性との関連も含めて捕えようとしており、日本を代表する山と川の創り出す壮大なランドスケープの産業観光に向けたフィールドディスプレイとして優れており、十分に説得力がある。

## 優秀賞

Aw2215

【作品名】 創造の楼閣

【制作者名】高塚 玲菜

【大学・学部】東京電機大学 未来科学部建築学科・日野研究室

【結果】優秀賞

【賞金額】 25 万円

【講評】古くからのモノづくり産業が根付く台東区において、新しく集まってくるクリエイターが伝統産業と、あるいはクリエイター同士が、あるいは住人と交わる「モノづくり拠点」を提案している。導入機能特に新しさはないが、地場産業に関連した工房作業空間とコミュニティ空間を組み合わせながら、吹抜を取り囲むように立体的に構成した楼閣空間は独創的である。地域に根ざした生活産業のディスプレイデザインとして評価できる。

## 優秀賞

Aw2211

【作品名】 また来てくれんさいなー高山陣屋前広場における「新しい朝市」ー

【制作者名】小田 唯加

【大学・学部】大同大学 工学部建築学科・中島研究室

【結果】優秀賞

【賞金額】 25 万円

【講評】都市化やコロナ禍のなかで、失われた岐阜高山の朝市の賑わいを取り戻し、街づくりの新しい核となる空間を創り出す提案である。観光客向けの市でなく、かつてのように地域の人が利用する市とする意図は共感できる。高山の町家のデザインモチーフを検討し、特徴的な文化とデザインコードを巧みに整理し、提案されたシンプルで汎用性の高いグリッドデザインは、高山の固有性がやや希薄に感じられるが、ユニバーサルなディスプレイ空間として評価できる。

## 奨励賞

Aw2229

【作品名】みのじ再織ー起におけるノコギリ屋根工場の新保存提案ー

【制作者名】木全 彩弥花

【大学・学部】大同大学 工学部建築学科 武藤隆研究室

【結果】奨励賞

【賞金額】 15 万円

【講評】尾州織物の特徴的なノコギリ屋根の工場のリノベーションであるが、保存再生の手法を織物の「再織」の工程になぞらえて、きめ細かく、イメージ豊かに提案している。既存のノコギリ屋根空間をコアにしなが、新しいノコギリ屋根空間とその繋ぎの空間を創り出し、ノコギリ屋根によって街をネットワーク化し、「再織」という提案は、地域の伝統に根ざした提案としてうまくまとめられている。歴史的な地場産業ディスプレイのまちづくりへの活用と言える。

## 奨励賞

Aw2206

【作品名】隅田川のストリートパーク

【制作者名】李 豪

【大学・学部】多摩美術大学 美術学部環境デザイン学科

【結果】奨励賞

【賞金額】15万円

【講評】隅田川の三叉部にループ状の憩いの場となるユニークな橋上公園を提案している。自転車路やランニングコースなどのリンク（通行）機能に加えて、カフェや屋外運動スペース、公園、さらにはパフォーマンスやワーキングスペースなどプレイス（滞在）機能を備えたストリートパークとして提案しており、発想、デザインともに秀でている。新しいストリートカルチャーのディスプレイ空間として評価できる。

## 奨励賞

Aw2205

【作品名】ここのか

【制作者名】大野 彩佳

【大学・学部】多摩美術大学 美術学部環境デザイン学科内原研究室

【結果】奨励賞

【賞金額】15万円

【講評】既存のフレグランスショップの画一性に疑問を持ち、「香り」をコミュニケーション手段としてとらえ、自分で選んだ香りをつけた「ビンセン」をポストに投函し、他人に思いを伝えるという、ユニークなショップを模したインスタレーションが面白い。視聴覚に比べて表現手段として認識されることのない「香り」が人のイメージに訴えかける力に注目した提案として興味深く、五感を活用したディスプレイデザインの可能性を感じさせる。

## 奨励賞

Aw2208

【作品名】品種改良的模型生成-心理測定実験を基にアップデートするオブジェクト指向-

【制作者名】兼松 光輝

【大学・学部】大同大学 工学部建築学科 米澤研究室

【結果】奨励賞

【賞金額】15万円

【講評】設計過程に生成される建築模型を客観的に評価、改良しオブジェとする発想は新鮮であり、メタレベルでのデザイン提案として興味深く、さりげなく生活の中に入り込む可能性を感じる。模型の豊かな形態的バリエーションは見た目楽しく、オブジェを心理評価によって魅力度を測る手法などは、デザインの様々な発展の可能性を感じさせ、ディスプレイデザインの分析的試み、デザイン開発手法として興味深い。